

兵庫県アレルギー疾患医療連絡協議会開催要綱【改正案】**(開催)**

第 1 条 アレルギー疾患に関する診療ネットワークの構築、県民並びに医療従事者に対する情報提供及び人材育成等について、アレルギー疾患対策関係者から広く意見を求めることを目的として、兵庫県アレルギー疾患医療連絡協議会（以下「協議会」という。）を開催する。

(検討事項)

第 2 条 協議会は、次に掲げる事項について検討を行う。

- (1) 兵庫県におけるアレルギー疾患の実情の把握及び情報共有に関すること。
- (2) 多様なアレルギー疾患に対する診療連携体制に関すること。
- (3) 県民並びに医療従事者に対する医療情報等の提供体制に関すること。
- (4) 医療従事者の人材育成に関すること。
- (5) 地域の実情に応じたアレルギー疾患対策推進計画の策定に関すること。
- (6) その他アレルギー疾患対策に関すること。

(構成)

第 3 条 協議会構成員（以下「構成員」という。）は、別表の関係機関並びに関係団体の代表者をもって構成する。

(座長)

第 4 条 協議会に座長及び座長代理を置く。

- 2 座長は、構成員の互選により選出する。
- 3 座長は、協議会の議事進行を行う。
- 4 座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、座長代理がその職務を代理する。

(運営)

第 5 条 協議会は、兵庫県健康福祉部感染症等対策室感染症対策課長（以下「感染症対策課長」という。）が招集する。

- 2 構成員は、事故その他やむを得ない理由により協議会に出席できないときは、あらかじめ感染症対策課長の承認を得て、代理人を出席させることができる。この場合において、代理人は、協議会が開催される前に委任状を感染症対策課長に提出しなければならない。
- 3 感染症対策課長が必要と認めたときは、協議会の構成員以外の者の出席を求め意見を聴くことができる。
- 4 協議会は、公開とする。ただし、協議会の運営に著しい支障があると認められる場合には、非公開とすることができる。
議事録、議事要旨及び協議会資料は原則として公開とする。

(部会の開催)

第6条 検討事項の一部について、特定の構成員からの意見聴取（又は意見交換）が必要な場合は、部会を設置することができる。

- 2 部会に招集する構成員は感染症対策課長が指名する。
- 3 部会の議事を進行するため、部会構成員の互選により、部会座長を選任する。
- 4 部会の運営については、「第5条」の規定を準用する。

(謝金)

第7条 構成員（県の職員である構成員を除く）及び構成員の代理人（県の職員である代理人を除く）が協議会及び部会に出席したときは、謝金を支給する。

- 2 謝金の支給については、別に定める。

(旅費)

第8条 構成員及び構成員の代理人が協議会及び部会に出席したときは、旅費を支給する。

- 2 旅費の額は、職員等の旅費に関する条例（昭和35年兵庫県条例第44号）の規定により算出した額に相当する額とする。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、協議会の開催に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

- 1 本要綱の一部改正について、令和2年7月1日から施行する。
- 2 一部改正については、県組織改編に伴う課名の変更による。

(別紙1)

兵庫県アレルギー疾患医療連絡協議会 謝金取扱要領

(趣旨)

第1条 この要領は、兵庫県アレルギー疾患医療連絡協議会開催要綱（以下「要綱」という。）第6条第1項に定める謝金の取扱いについて必要な事項を定める。

(謝金の額)

第2条 要綱第6条第1項に定める謝金の額は、日額12,500円とする。

(その他)

第3条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

(施行期日)

この要領は平成30年4月1日から施行する。

兵庫県アレルギー疾患医療連絡協議会構成員名簿

	区 分	所 属	氏 名	職 種 等	役 職 等
1	拠点病院	神戸大学医学部附属病院	西村 善博	呼吸器内科医師	副院長
2		兵庫県立こども病院	田中 裕也	アレルギー科医師	科長
3		兵庫医科大学病院	松井 聖	リウマチ・膠原病内科医師	教授
4		神戸市立医療センター中央市民病院	岡藤 郁夫	小児科医師	医長
5	医療関係	(一社)兵庫県医師会	足立 光平	内科医師	副会長
6		兵庫県内科医会	吉田 誠	内科医師	明石市内科医会幹事
7		兵庫県小児科医会	河盛 重造	小児科医師	副会長
8		兵庫県眼科医会	平松 邦夫	眼科医師	会長
9		兵庫県耳鼻咽喉科医会	井上 健造	耳鼻咽喉科医師	監事
10		兵庫県皮膚科医会	堀川 達弥	皮膚科医師	幹事
11		(一社)兵庫県薬剤師会	岡本 禎晃	薬剤師	常務理事
12		(公社)兵庫県看護協会	山森みどり	看護師	副会長
13		(公社)兵庫県栄養士会	山本 育子	栄養士	理事
14	その他	小児アレルギーエディケーター	渡木 綾子	看護師	神戸市立医療センター西市民病院
15	行 政	兵庫県市長会	南本 伸一	事務局	事務局長
16		兵庫県町村会	仁井 重雄	事務局	事務局長
17		兵庫県教育委員会事務局	平澤 郁子	体育保健課	指導主事
18	患者会	姫路アレルギーの会オリーブ	西川 由記	県民	代表

アレルギー疾患対策事業

1 事業目的、効果等

アレルギー疾患は国民の二人に一人が罹患していると言われており、中には急激な症状の悪化を繰り返すなど、日常生活に影響を及ぼすことも多い。

このような背景から、平成 27 年 12 月にアレルギー疾患対策基本法が施行され、平成 29 年 3 月にはアレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針の告示があり、その中で地方公共団体はその責務として地域の特性に応じた施策を実施することと定められている。また、平成 29 年 7 月には厚生労働省の検討会における報告書（「アレルギー疾患医療提供体制の在り方について」）が取りまとめられ、都道府県にはアレルギー疾患医療拠点病院ならびにアレルギー疾患医療連絡協議会の設置が求められた。

これらを踏まえ、拠点病院を中心とした医療提供体制の整備や連絡協議会での検討、さらには県が実施する花粉飛散状況調査を通じて、地域の実情に応じた総合的なアレルギー疾患対策を推進する。

2 事業内容

(1) 県アレルギー疾患医療連絡協議会の開催

診療連携体制の在り方の検討や情報提供、人材育成等の施策の企画・立案、アレルギー疾患対策の施策の検討等を行う。

① 構成委員

拠点病院、専門病院、県医師会、県薬剤師会、県看護協会、県栄養士会、市長会、町村会、教育委員会、保育協会、児童福祉施設、患者会等その他関係者 全 18 名

② 開催回数 2 回／年

(2) 人材育成

① アレルギー疾患医療に携わる医療従事者の知識や技能向上に資する研修を、拠点病院等に委託して実施する。

対象：医師、薬剤師、看護師、栄養士

内容：アレルギー診療に関わる診療科ごとに、必要な知識や技能についての講義や実習を行う。

② 保育所、私立学校、児童福祉施設等の教職員等に対する講習を実施する。

(3) 情報提供

アレルギー疾患の重症化の予防には平時からの自己管理が重要であるため、アレルギー疾患に関する適切な情報提供に取り組む。

① 患者や家族に対する講演会を実施する。（年 2 回）

② 地域住民に対する啓発として、県ホームページによる情報提供や啓発パンフレットを作成する。

(4) 県アレルギー疾患対策推進計画の策定

計画策定部会を設置し、部会での検討結果を踏まえ長期的視野に立った県のアレルギー疾患対策の方針や目標を定めた推進計画を策定する。

(5) 学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導等

拠点病院に委託して、医学的見地による助言、支援を実施する。

(6) 花粉症調査研究事業

県立健康生活科学研究所及び検査室設置健康福祉事務所（宝塚・龍野・豊岡・洲本）の 5 か所で花粉飛散状況の定点観測を実施することにより、花粉情報を県民（ホームページ）及び関係機関（日本気象協会関西支社等）に速やかに提供するなど、広く県民に情報提供することで、花粉症の早期予防に役立てる。

【事業実施予定表】

事業名		H30	R1	R2	R3	R4	R5
1	県アレルギー疾患医療連絡協議会	○	○	○	○	○	○
2	人材育成	○	○	○	○		
	医療従事者の研修						
	学校、児童福祉施設等の教職員等の講習		○	○	○		
3	情報提供	○	○	○	○	○	
	患者や家族会に対する講習会						
	地域住民に対する啓発						
	ホームページ	○	○	○	○	○	○
	パンフレット	○					○
4	推進計画の策定		○				
	調査						
	計画の策定		○				
5	学校、児童福祉施設等における対応への助言、指導		○	○	○	○	○
6	花粉症調査研究事業	○	○	○	○	○	○

令和 2 年度アレルギー疾患医療従事者等研修実施要領

1 目的

この事業は、県内のアレルギー疾患医療に携わる医療従事者等を対象に研修を実施することにより、アレルギー疾患に関する専門的な知識及び技能を有する人材の育成を図る。

2 対象者

県内のアレルギー疾患医療に携わる医療従事者を対象とする。

3 内容

アレルギー疾患に関して専門的な知識を有する医師等を講師として、最新の科学的知見に基づいた適切な医療について研修を行う。

4 事業実施期間

令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までの間に開催する。

5 事業の実施

この事業は兵庫県がアレルギー疾患医療拠点病院に委託して実施する。

【参考】

アレルギー疾患医療従事者等研修の実施計画

実施計画（案）

年度	研修の委託先	研修する診療科				
		内科 (成人)	小児科	耳鼻 咽喉科	眼科	皮膚科
平成 30 年度	兵庫医科大学病院	○	○	○	○	
令和元年度	神戸市立医療センター 中央市民病院	○	○			○
令和 2 年度	神戸大学医学部附属病院	○	○	○		○
令和 3 年度	県立こども病院	○	○		○	

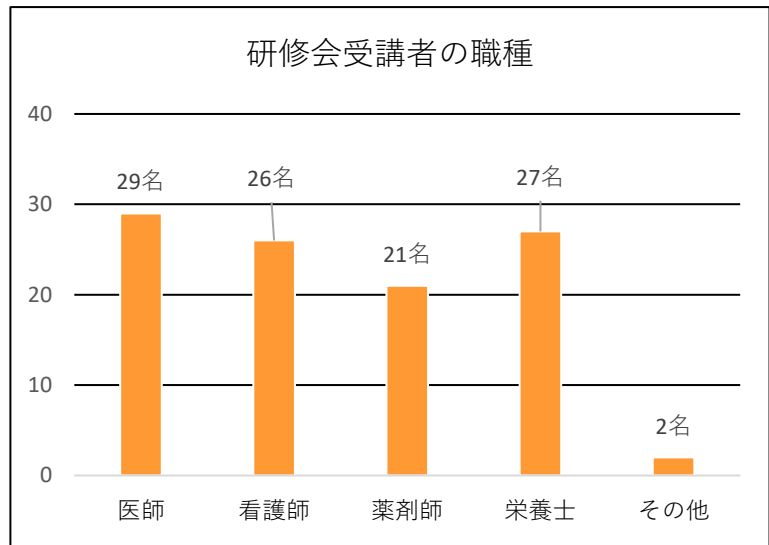
【留意事項】

- ・ 内科、小児科は毎年実施
- ・ 耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科は 2 年に 1 回実施。
- ・ 喘息、食物アレルギーは、内科、小児科領域で講義。
- ・ アレルゲン検査（血液検査、皮膚検査）は、各診療科の研修で講義。

第1回アレルギー疾患医療従事者等研修会（2019年2月23日開催） アンケート結果

1 研修会受講者の職種

医師	29
看護師	26
薬剤師	21
栄養士	27
その他	2

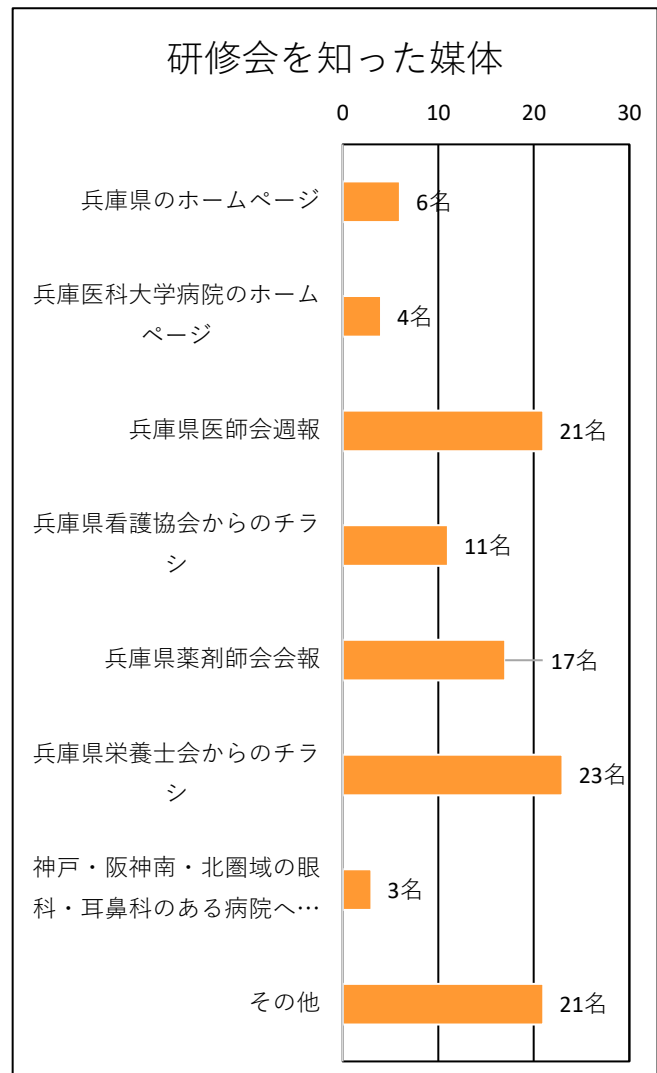


【e.その他内訳】

記載なし	2
------	---

2 本研修会をどのように知ったか。（複数回答可）

兵庫県のホームページ	6
兵庫医科大学病院のホームページ	4
兵庫県医師会週報	21
兵庫県看護協会からのチラシ	11
兵庫県薬剤師会会報	17
兵庫県栄養士会からのチラシ	23
神戸・阪神南・北圏域の眼科・耳鼻科のある病院への案内	3
その他	21

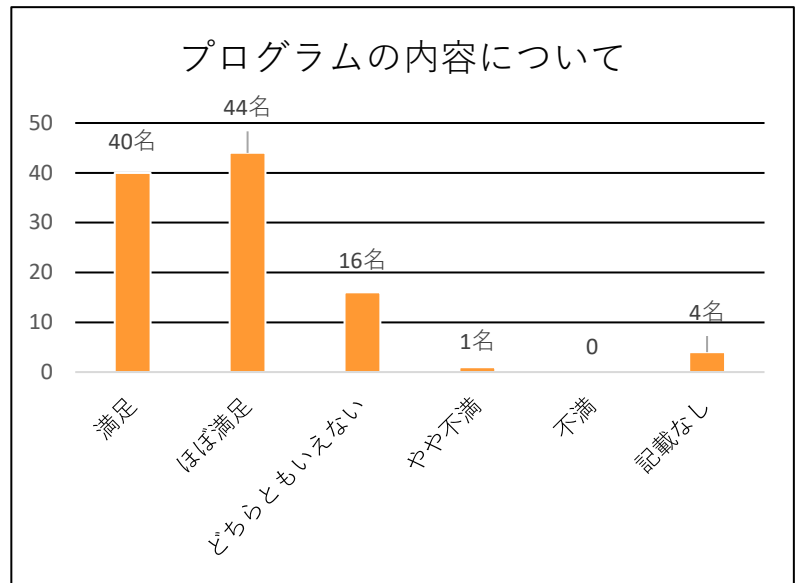


【h.その他内訳】

知人からの紹介	2
県健康福祉部からの案内	1
岡藤先生（中央市民病院小児科）からの勧め	2
病院事務長より	1
病院のお知らせ	1
職場から	2
職場のDr から教えてもらいました。	3
病院内の研修案内	2
手紙・メール	1
上司のすすめ	2
記載なし	4

3 プログラムの内容はいかがでしたか

満足	40
ほぼ満足	44
どちらともいえない	16
やや不満	1
不満	0
記載なし	4



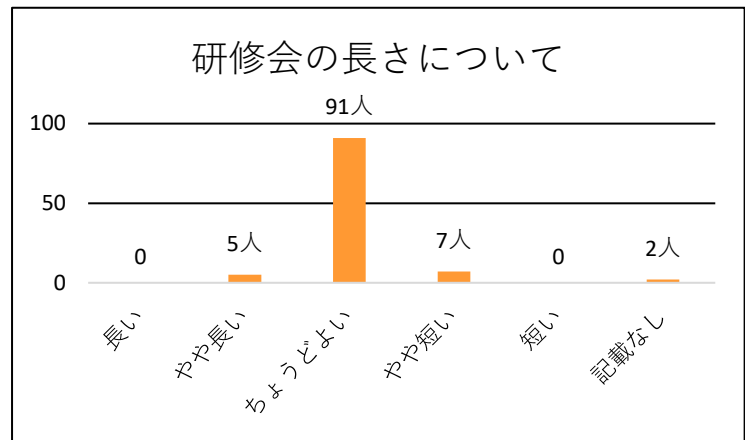
どの点が不満でしたか（自由記入）

- ・分科会が良かったです。他科のDrの話聞く機会が以外と無いので。
- ・選択講座を2個ぐらい選択したかったです。（実際の診療科以外にも興味あり）
- ・医師向けなどの細分化
- ・実際の具体的な処方についてのアドバイスが知りたい。
- ・具体的な症例提示を増やして欲しい。
- ・分科会に分かれていた点（小児科・内科両方のお話を聴きたかったので）
- ・講義内容が早かった。書きとめる時間が追いつかず…。プリントで資料が欲しかった。
- ・具体例がもう少し聞きたかった。治療など。
- ・スライドだけでなく、発表された資料が欲しい。
- ・他の科のアレルギーのお話しも興味があり、聞きたかった。（内科を聴講しました）
- ・初級向けではなく中級向けが欲しかった。分科会として分けるのではなく、全科聞きたかった。
- ・分科会を複数受けたかった。
- ・講習内容のプリントが欲しかった。
- ・分科会となっていた為、聞けない研修があり残念だった。
- ・ほとんど知っている内容であった。
- ・初発の場合の対応（食物アレルギーでアナフィラキシーでない場合）
- ・アレルギーの対処法は良く分かったが、食物アレルギーについて細かい話、気を付けたい点等を聞きたかった。
- ・最初の総論をもと聞きたかった。
- ・食物アレルギーの内容的にもっと中身がある内容が欲しいです。総論的な内容はどの研修会であってもやっている内容であり、もっと違った内容が学べるとしていました。
- ・小児科：食物アレルギーの指導方法や細やかな対応についてお伺いできるのではと期待したのですが、一般的かつ表面的なこと、アレルギーについてガイドライン等、既に周知されている内容が多く、もう少し踏み込んだお話が聞きたかったので、残念でした。
- ・興味の有る分科会が多数あり、1つだけでは物足りなかった。
- ・分科会の内容をもっと詳しく（時間をとって）お聞きできれば、尚良かったです。

・有料で良いので、スライドの内容をプリントしたものを頂きたかったです。

4 研修会の時間の長さはいかがでしたか。

長い	0
やや長い	5
ちょうどよい	91
やや短い	7
短い	0
記載なし	2



どのぐらいの長さが適当でしょうか（自由記入）

- ・全ての講義を聴きたかった。
- ・総論・各論合わせて、もう少し長くても良いと思う。
- ・スライドが早くて、追いつくのが大変でした。
- ・分科会の話しは分かりやすくて良かったです。このところはもう少し長くてもよかったかも
- ・少し短い時間で大切な内容だったので、紙面で講義内容など、準備できていればもっと良かったと思う。
- ・2時間
- ・もう少しゆっくり講義して欲しかった。
- ・開始時間を1時間程遅くしていただきたい。
- ・もう少し小児の具体例等のお話を聞きたかった。

5 今後の研修会に希望されるテーマ、本日の感想、開催日時の希望、改善点など自由にご意見をお聞かせ下さい。

- ・たくさんの参加者がおられて、ニーズを感じました。兵医の皆様のご尽力の結果かと思えます。今回はDrが講師でしたが、Dr監修の元、薬剤師や看護師、栄養士がプレゼンするのも良いかもしれません。参加者の8割が女性でしたので、子育て中の女性が参加しやすいように託児所があれば、良いと思いました。
- ・参加者が分かるように腕章などあれば、参加者が声をかけやすいと思いました。
- ・参加人数に対して総論の部屋が狭すぎる。
- ・とてもよくわかる講義で、大変勉強になりました。ありがとうございました。（内科講義）
- ・土曜のPMが都合良いです。または日曜日。
- ・他のアレルギー疾患についても研修してほしい。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・講義のレジュメが欲しいです。
- ・アレルギー検査に関する実習 パッチテスト・スクラッチテストetc
スキンケアの実習、BAに関してPFT検査 呼気NC測定 etc

・耳鼻科ドクターの講義が聴けて、新鮮でした。分かりやすかったです。（眼科医）
・スライドの配布資料をお願いします。
・分科会にせず、すべてを聞きたいです。聞きたい内容を人数制限で聞けない人もいたようです。やり方を考えて下さい。
・スキンケア 兵庫県内の小児科のある病院に研修会を知らせて頂きたいです。
・他の分科会にも参加したいので、もう1つぐらいは（専門外の領域）参加できればと思います。
・栄養士・薬剤師による講義もお願いします。
・土曜PM3時開始が望ましい。
・はちの刺傷病のアレルギー症例の具体的提示
・遠方から参加しますので、土曜日開催の場合、時間をもう少し遅くして頂けると、助かります。
・本日参加者には、次回の研修案内も欲しいです。メールなりで。
・食物アレルギー治療法、皮膚湿疹等、皮膚を正常に保つ方法
・ありがとうございました。
・重要な内容がみっちり入っていて良かったです。中だるみもなく。
・分科会の枠の関係で小児科のDrの話が聞けなかったのが残念でした。
・パワーポイントの資料を頂けると嬉しかったです。
・他の分科会の内容も知りたかったです。
・簡単なスライド資料が欲しかったです。
・土曜日の午後が良かったです。
・エピペンは迷わないで注射する事を勧めていきたいです。
・研修内容の資料があったら良いと思います。
・小さな病院で勤務中、アレルギーのマニュアルを作成中。QQカードに、アナフィラキシーショックの場合の手順を常に置いておく等、すぐできる事をマニュアルに記して、用意できると思った。いろいろ参考になった。
・土曜日で参加しやすいですが、時間は外来の午前勤務がある時があるので、14時半～位が良いです。
・新しい事・決まった事などあれば、研修で知りたいです。
・土曜日が良いです。
・土曜日の良い時間帯でよかったです。 次回もこの時間がうれしいです。
・時間は、14:30以降の開始が希望です。土曜日午前中仕事がある為。
・IgEの検査の見方。
・参加させていただいて、とても勉強になりました。
・自身が花粉症なので、興味深く聞けました。
・わかりやすかったです。
・土曜日のPMは参加しやすいのでよかったです。
・指導方法についても学びたかった。
・小児の食物アレルギーにおける、具体的な話。 （学校給食、園や学校、社会での生活で実際に困ることなど）
・ロールプレイングなど

<ul style="list-style-type: none"> ・レジュメがあると良いと思いました。講義の内容が手元に残らないので
<ul style="list-style-type: none"> ・来年は他科の講演を聴講させて頂きたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・多職種合同であるより、専門分野における学習を深めたいと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・喘息やDM注など、手技説明が必要なものの研修を希望します。
<ul style="list-style-type: none"> ・一科しか受講できないのが残念です。
<ul style="list-style-type: none"> ・全科受講したいので、時間で分けて頂きたい。（受講希望しないものは、退出etc）
<ul style="list-style-type: none"> ・全Drの話しを聴講したかったです。
<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容のパワーポイントをプリントアウトしたものがあれば、もっと良かったです。
<ul style="list-style-type: none"> ・分科会はどれも拝聴したいテーマでした。 ・アトピーの話も聞いてみたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・初めの全体講義：なぜハンドアウト下さらないのか？きちんと資料欲しい。帰って復習出来ない。 ・分科会：内科でしたが、説明がいまいち。あまり内容が入って来なかった。ハンドアウトがないのが困る。 ・エピペン：わかりやすかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・スライドの資料をできれば頂きたかったです。
<ul style="list-style-type: none"> ・できれば、土曜日の夕方以降や日曜日などの方が参加しやすいです。有難うございました。
<ul style="list-style-type: none"> ・漢方によるアレルギー治療
<ul style="list-style-type: none"> ・実際の注意点がよく理解できたと思う。 ・紙面上で得た知識だけでは、現場での対応が難しく。 ・まさかのチェック漏れで大事になる。何度か受講して、しっかり身につけたい。 ・曜日・時間は適していると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・一年に何回かしていただけると助かります。（仕事で受けられないこともあるので）
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時のアレルギー症状の方への接し方、フォローの仕方等、特に小児になるとは思います、教えていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの内容にしても、どの方面に向けてのものか、はっきりして欲しいです。 ・最初のテーマがザックリしすぎて、わかりません。実際の現場の話とかどうなっているのでしょうか？病院の現場ではどうでしょうか？など、具体的な内容が全くありませんでした。（小児科分科会）
<ul style="list-style-type: none"> ・総論の内容は大変良かったのですが、もう少しゆっくりの講義であって欲しかったし、もう少し深くても良かったかなと思いました。小児科の分科会ではその現状が理解でき、良かったです。
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導など実際の指導方法などの共有の場。 ・部屋が寒かったです。
<ul style="list-style-type: none"> ・14:00～スタートで都合がつけやすかった。 ・エピペンの使い方は忘れてしまうと意味がないので、年に1度は練習したい。DVD大変参考になった。
<ul style="list-style-type: none"> ・症例等も混ぜてお話ししてもらったので、分かりやすかったです。 ・少しレジュメなどもあれば、さらに良かったかと思います。 ・開催日時は土曜のPMを希望します。 ・今後のテーマは糖尿・心疾患・腎疾患などを知りたいと思います。

- ・アレルギーの事がより細かく分かり、良かったです。
- ・開催日の方は土曜日・日曜日・祝日の方が参加しやすいです。
- ・時間は丁度良い時間帯だったかと思います。

・勤務の関係上、遅れて来られる方が多く、着席に他の方々に迷惑をかけるので、時間厳守でお願い致します。

- ・参加費無料の研修会は大変有難いです。感謝申し上げます。

・食物アレルギーについて、

- ・除去食品の考え方、選択基準を教えてください。

・症例を複数示していただいたところが、とても参考になりました。

・小児の食物アレルギーの講演は具体例を挙げて説明してくださり、とても分かり易かったです。

・分科会では聞きたい講演がいくつかあり、一つしか選べないのが残念でした。

・アレルギー原因物質を不必要に除去している可能性が多いということを知ることができました。

・患者様の中で、アレルギーをお持ちになっている人が、問診で摂取可能な食品とアレルギー食材がリンクしていなかった理由がわかりました。

・開始時間、総論、分科会、実習の構成はメリハリがあり良いと思う。

・各講座では一部でも良いので、配布資料があるとより良いと思う。

・講義内容の資料があると良かったです。

令和2年度 学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言・指導等の実績

(令和2年8月時点)

	所在地	区分	相談者	相談内容
1	尼崎市	保育園	園長	小麦・卵アレルギー児童の食べ進め方について
2	芦屋市	小学校	養護教諭	重症小麦アレルギー児童の対応について
3	伊丹市	保育園	栄養士	保護者の判断で完全除去は希望しないといわれた場合の対応について。
4	姫路市	保育園	所長	卵アレルギー児に加熱の卵料理は除去、マヨネーズは提供可と保護者から申し出に対する理解はどのようにすべきか。
5	尼崎市	小学校	養護教諭	小児の食物アレルギー解除の際、負荷試験等なく保護者の問診のみでの判断でも大丈夫なものか。
6	明石市	小学校	養護教諭	食物アレルギーの児童に軽微な症状が出た場合、保護者に連絡し迎えに来てもらい病院を受診してもらうことでよいか。
7	香美町	中学校	養護教諭	重症食物アレルギー児童の修学旅行などの学校行事などの対応について。
8	南あわじ市	中学校	教頭	強い卵・牛乳アレルギーを持つ生徒について、修学旅行などの学校行事で気をつける点はあるか。
9	姫路市	小学校	養護教諭	ゴマアレルギーがあるが食べても症状がない児童は、急にアレルギー症状が出ることはあるか。

【相談市町別件数】

尼崎市	芦屋市	伊丹市	姫路市	明石市	香美町	南あわじ市	合計
2件	1件	1件	2件	1件	1件	1件	9件

【相談機関別件数】

保育園	小学校	中学校	特別支援学校	合計
3件	4件	2件	件	9件

【相談者別件数】

教諭	養護教諭	管理栄養士	合計
3件	5件	1件	9件

アレルギー疾患準医療機関選定（案）について

令和 2 年 8 月現在

○拠点病院選定時のスケジュール

平成 29 年 7 月 関係者と打ち合わせ

平成 29 年 8 月 兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院の選定に係る調査実施

平成 29 年 9 月 締切り

平成 29 年 11 月 県医師会に対して説明

平成 30 年 2 月 選定結果通知

○調査結果

1 拠点病院に選定した病院【4 病院】

	病 院 名	所 在 地
1	神戸大学医学部附属病院	神戸市中央区楠町 7-5
2	兵庫県立こども病院	神戸市中央区港島南町 1-6-7
3	兵庫医科大学病院	西宮市武庫川町 1-1
4	神戸市立医療センター中央市民病院	神戸市中央区港島南町 2-1

2 拠点病院に選定されなかった病院【3 病院】

	病 院 名	所 在 地
1		
2		
3		

○拠点病院の選定要件

- ① アレルギー疾患の診療経験が豊富な内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科領域の専門的な知識と技能を有する医師が常勤していること
- ② 日本アレルギー学会のアレルギー専門資格を有する医師がいること
- ③ アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士が配置されていること

○平成 30 年度第 2 回連絡協議会構成員からの意見

- Q. 拠点病院が神戸・阪神間に偏っている。県全体の推進計画を遂行していくためには、地域の中心となる医療機関（準拠点医療機関）を拠点病院とは別に設置してもよいのではないか。
- A. 兵庫県は県土が広く、現在の拠点病院のみでは全県的に施策が行き届かないのではないかという指摘がある。そのため、今後、拠点病院とは別に準拠点医療機関（仮称）の指定等によりアレルギー疾患対策が全県的に網羅できるよう推進計画に記載する。

○準拠点医療機関選定に向けてのスケジュール

- 令和2年9月 メールにて連絡協議会構成員に意見募集
- 令和2年9月 兵庫県アレルギー疾患準医療機関の選定に係る調査実施
- 令和2年10月 締切り
- 令和2年11月 県医師会に対して説明
- 令和3年2月 選定結果通知

○計画の記載（P19）

兵庫県アレルギー疾患医療準拠点医療機関の選定

患者がどこの地域であっても医療機関に受診できるように、準拠点医療機関を設ける。拠点病院と連携できる体制とする。

○県内の日本アレルギー学会アレルギー専門資格を有する医師数

135名（2020年6月10日現在認定の指導医・専門一覽）

ご意見募集

○準拠点医療機関の選定要件（案）

- ① 日本アレルギー学会のアレルギー専門資格を有する医師がいること
- ② 拠点病院と連携できる体制であること

令和2年度 アレルギー疾患対策関連施策体系表

一：県予算の発生しない事業

	2年度当初 予算額(千円)	部	課室
1 アレルギー疾患の重症化の予防及び症状の軽減			
(1) 知識の普及、情報提供			
○ 医療従事者向け研修 ・ アレルギー疾患医療に携わる医療従事者の知識や技能向上に資する研修の実施	236	健康福祉	感染症対策課
○ 特定給食施設管理事業 ・ 保育所等の給食施設を対象に栄養管理に関する個別指導、研修、情報	339	健康福祉	健康増進課
○ PM2.5注意喚起情報発令事業 ・ 各地域のデータを県ホームページで発信	—	農政環境	水大気課
○ 学校における現代的な健康課題解決支援事業 ・ 各地域の研修会等にアレルギー専門医を派遣 ・ 健康教育研修会における「学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル(28年度改訂)」の周知	452	教育委員会	体育保健課
○ 県ホームページによるアレルギー疾患に関する情報提供 ・ 相談窓口 ・ アレルギー疾患に対応できる専門医等の情報 ・ 診療ガイドライン ・ アレルギー疾患のセルフケアについての情報 ・ 花粉飛散状況と飛散予測の地域別情報	—	健康福祉	感染症対策課
○ 児童福祉施設等への既存ガイドラインの周知	—	健康福祉	障害福祉課
	—	健康福祉	こども政策課
	—	健康福祉	児童課
○ 市町(母子保健、児童福祉)への食物アレルギー等の情報提供	—	健康福祉	健康増進課
(2) 生活環境の改善			
○ 優良種苗生産整備事業 ・ 少花粉スギ苗木(花粉量が通常の1%以下の品種)を含む苗木生産	9,047	農政環境	林務課
○ 造林事業 ・ 花粉発生源の立木の伐倒・除去及び少花粉スギ苗木の植栽にかかる経費への補助金交付	92,700	農政環境	林務課
○ 受動喫煙対策推進事業 ・ 禁煙啓発キャンペーン、条例普及チラシや子ども向け喫煙防止パンフレットの作成・配布等	15,311	健康福祉	健康増進課
2 アレルギー疾患医療の均てん化の促進等			
○ 県アレルギー疾患医療連絡協議会の開催 ・ 診療連携体制の在り方の検討や情報提供、人材育成等の施策の企画・立案、アレルギー疾患対策の施策の検討	515	健康福祉	感染症対策課
○ 医療従事者向け研修の実施(再掲) ・ アレルギー疾患医療に携わる医療従事者の知識や技能向上に資する研修の実施	(236)	健康福祉	感染症対策課
3 アレルギー疾患を有する者の生活の質の維持向上			
○ 学校・児童福祉施設等への助言、指導 ・ 学校、施設職員向け相談窓口の設置	370	健康福祉	感染症対策課
○ 特定給食施設管理事業(再掲) ・ 保育所等の給食施設を対象に栄養管理に関する個別指導、研修、情報提供	(339)	健康福祉	健康増進課
○ 兵庫県食品衛生監視指導計画に基づく監視指導 ・ アレルゲンを含む食品表示に係る食品製造者等への指導	—	健康福祉	生活衛生課
○ アレルゲン(特定原材料)を含む食品の除去検査 ・ 県内流通の加工食品を検査することによるアレルゲン表示の適正等を監視指導	—	健康福祉	生活衛生課
○ 学校における現代的な健康課題解決支援事業(再掲) ・ 各地域の研修会等にアレルギー専門医を派遣 ・ 健康教育研修会における「学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル(28年度改訂)」の周知	(452)	教育委員会	体育保健課
4 調査・研究の推進等			
○ 花粉飛散状況調査 ・ 花粉の飛散データの調査・解析	900	健康福祉	感染症対策課
5 災害時の対応			
○ 広域防災拠点管理運営事業 ・ 広域防災拠点の施設及び設備の維持管理や資機材の定期点検	7,629	企画県民	災害対策課
○ 備蓄食糧更新費 ・ 被災者用備蓄食糧の計画的な買替え	6,190	企画県民	災害対策課
○ 災害救助費 ・ 災害救助法適用各市町が行った救助(炊き出しのその他による食品の給与等)に要した経費の交付	87,600	企画県民	災害対策課
○ 救助物資取扱費 ・ 物資点検費、物資移動費等	1,000	企画県民	災害対策課
合計	213,251		